

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)	良くなる	スーパー（経営者） 観光名所（職員）	・毎日の積み重ねにより、良くなる。 ・3か月後は秋の走りとなるが、当地は観光地のため秋はトップシーズンで、今よりは良くなる（東京都）。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者） 一般小売店〔文房具〕（経営者） コンビニ（経営者） 家電量販店（統括） 乗用車販売店（総務担当） その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者） その他小売〔雑貨卸〕（経営者） 高級レストラン（経営者） 一般レストラン（経営者） 一般レストラン（経営者） 一般レストラン（経営者） 都市型ホテル（スタッフ） 旅行代理店（販売促進担当） 旅行代理店（営業担当） タクシー運転手 通信会社（管理担当） ゴルフ場（経営者） ゴルフ場（企画担当） その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人） その他サービス〔立体駐車場〕（経営者） 設計事務所（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響から多少は回復してくると思われるため、期待している（東京都）。 ・法人客の商品購入はやや減少気味ではあるが、ここ数か月の個人客の購入額増加傾向や、8～9月は地域のイベントが活発に行われるため、景気はやや上向きになる（東京都）。 ・隣の空き地の建設工事が少しずつ始まるために、多少良くなるのではないかと。 ・金融政策と政府の経済対策により消費が高まると見ている。特に耐久消費財では、客単価や購買指数のアップが期待できる。 ・決算や新車投入など好材料が豊富であり、客の動きがより活発化すると予想している。 ・久々に新店をオープンするので、勢いに乗りたい。 ・売上と利益から判断している（東京都）。 ・東京郊外の私鉄沿線駅というロケーションにある当店のよう飲食店は、昼がマダムユース、夜がファミリーユースとなる。4月以降は前年並みの来客数、売上額であるが、客単価は若干上がっている。この数字では上向きとまでは言えないが、多少の期待はある。 ・7～8月は年間を通して売上が落ち込むので、2～3か月先は少し良くなる。 ・インターネットという目に見えない存在が、新しいビジネスチャンスを作り、小さな商店街にも恩恵を少しずつ与えている。人件費削減にもつながり、先行きに対する期待は大きい（東京都）。 ・客単価の上昇と来客数増加傾向から、良くなっていると思うものの、ランチの来店頻度が減っている店もあるため、全体の価格帯が上がっているわけではない。サラリーマン層には値上げは厳しいと思われるため、リーズナブルな商品も出していく予定である（東京都）。 ・夏季シーズンは需要が高まるため、少し良くなる。 ・2～3か月後は旅行業界にとっては、秋の旅行シーズンである。国内は順調だと思うが、海外がやはり団体を中心に伸び悩んでいるため、国内へのシフトが一層進む。そのため、多少は国内旅行のお陰で良くなる（東京都）。 ・秋季旅行シーズンを迎えるため、販売量の増加が期待できる（東京都）。 ・希望的観測を含むが、世間は、都知事選、リオデジャネイロオリンピックと浮かれており、実質的な好景気感とは全く関係ないかもしれないが、やや浮わつた景気感である（東京都）。 ・法人向けソリューション設備投資への意欲は現状と変わらないとみるが、個人向けの携帯電話販売は夏季商戦期を迎え、やや良くなる（東京都）。 ・希望的観測で、やや良くなる。 ・9月中旬過ぎの予約が例年以上に埋まっている。 ・企業予約ははまだ低迷しているものの、個人利用が増加傾向にある。 ・近隣の大型商業施設が11月いっぱいの閉店に向けてセールを行うため、来客数が増える。 ・民間企業からの相談もあり、徐々に忙しくなりそうな気配を感じる。ただし、相変わらず利益率は低く、労働時間は長くなりがちである。経済状況が停滞している現在、仕事があることに感謝である。
	変わらない	商店街（代表者）	・今年の天候を見ると、あまり良くなるとは思えない。これから30度を超える日が続くと、大変になる。高齢者が動けるような天候になるのが一番で、暑すぎるのも、寒くなるのもいけない。なかなかそれが難しい（東京都）。

商店街（代表者）	・選挙結果とこの夏の天候も大きく影響する。低調基調はしばらく続くように感じる。新作スマートフォン向けゲームの影響で街中の人出が増えるが、消費にはほとんどつながらない(東京都)。
商店街（代表者）	・地域のプレミアム付商品券が発行されたものの、既存小売店での消費は不透明である(東京都)。
一般小売店〔和菓子〕 （経営者）	・これからも暑さは続くうえ、今年9月の季節行事が重なってしまうため、売上も一緒になってしまい減少する懸念がある。
一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・夏商戦もこれからで、どこに頼んだらよいか分からないような困りごとなどの仕事依頼が増えている。どんなことでもこなしていかないといけないが、簡単な仕事は量販店に行ってしまうのだろう。
一般小売店〔家具〕 （経営者）	・小売店はこの悪い状態のまま変わらないだろうと感じている(東京都)。
一般小売店〔米穀〕 （経営者）	・3か月先はあまり良いイメージができない。今の政治の不安定さや社会の雰囲気から、それほど変わらないのではない(東京都)。
一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・店頭においてこれから飛ぶように売れる商品が出るとか政策として補助金等あるということも特になく、外商も大きな案件が3か月後にはないので、あまり変わらない。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	・会社の販売量が伸びなければ、従業員は良くなる。新規の得意先も競争が厳しく、なかなか受注できない。特に夏から秋にかけては例年厳しい(東京都)。
百貨店（売場主任）	・円高傾向が続く株価も低調に推移する予想で、富裕層だけではなく、中間層も苦戦を強いられるとみている。
百貨店（営業担当）	・例年に比べて梅雨明けが遅く、夏日の少ない影響もあり、夏物衣料、服飾雑貨等の動きが全般的に悪い。また、訪日外国人観光客の買上動向も変化しつつあり、ハイブランドの高級衣料や雑貨の動きが減速傾向である。景気は停滞気味と考える(東京都)。
百貨店（営業担当）	・アパレル関連の苦戦や服飾雑貨の堅調な動きに、大きな変化は見られない。食料品は徐々に回復しつつあるが、全体的な傾向は変わらない。ただし、客単価の伸びがあまり見られないため、今後も大きな伸びは期待できない(東京都)。
百貨店（営業担当）	・インバウンドや経済不安の状況はしばらく変化がない。今年は前年のような服飾の大きなトレンド変化もないため、消費意欲が促進されにくい(東京都)。
百貨店（営業担当）	・訪日観光客は増加するものの購買額の減少は継続している。また、円高、株安が続くなかで、富裕層の購買も減少傾向にあり、現段階では明確な対策が見出せないため、当分は変わらない(東京都)。
百貨店（営業担当）	・英国のEU離脱問題による世界経済の停滞は落ち着きを取り戻しつつも、11月にアメリカ大統領選挙を控えており、しばらくは静観ムードになるのではない(東京都)。
百貨店（販売促進担当）	・先行き不透明感から国内消費マインドの落ち込みは、しばらく続く。更に外国人需要も、来客数の減少はないものの、高額品の買上は減少傾向にあり、今後の客単価の低下は避けられない(東京都)。
百貨店（販売促進担当）	・スタートが集中したことで出だしが良かったセール商戦も、2点買上でクーポン券進呈、よりどり企画など新たな施策を実施している。依然として、客の消費に対する意識は厳しいままであり、必要な物しか買わない傾向は今後も続くと感じている。
百貨店（計画管理担当）	・大手取引先の経営不振など先行き不安の要因が多く、回復の見込みは低い(東京都)。
百貨店（店長）	・日本経済や将来に明るい兆候が1つ2つ出ない限り、状況を変えていくことは難しい。
百貨店（副店長）	・リオデジャネイロオリンピック開催後も世界経済の不透明感は継続すると感じている。秋物商材の動向も、明確に上向く材料があるとも思えない。
スーパー（経営者）	・世界情勢が不安定である(東京都)。
スーパー（販売担当）	・売出初日の目玉商品や、ポイント何倍の日、時間帯割引サービスなど、特典のある店や時間を上手に使い分け、少しでも安く買物しようという客の動きがまだまだ多く見られる(東京都)。
スーパー（経営者）	・やや悪い状態が続いているので、この状況は変わらない。時々良くなるのだが、次々に競合店が出てくるので、そのたびに影響を受けて、なかなか良くならない。

スーパー（店長）	・本来なら3か月後の景気は良いと答えたいが、客の様子を見る限り、午前中は年配客、昼から夕方にかけては主婦、夕方から夜間は通勤帰りのサラリーマン、OLというような状況で、買う物自体の点数はそれほど大きく変わらなくなってきている。値段の高い安いだけになっており、チラシを入れて特売をしたり、店内でプロモーションをかけても、なかなか思うように売上が上がってこない。3か月後も、現状のまま変わらない(東京都)。
スーパー（店長）	・行楽シーズンに向かい、食費以外の出費が多い時期にさしかかかるので、今後しばらくは同じような状況が続く(東京都)。
スーパー（営業担当）	・現在、世界の景気に、日本が振り回されている。この状況が安定化しないと国内景気も上向きになってこない(東京都)。
スーパー（仕入担当）	・2月以降、チラシ掲載価格が下落傾向になっている。価格を下げて売上数量が増えれば良いが、従来価格の時と変わらない商品もあり、競合店との兼ね合いを考えると、非常に厳しい判断になってくる。
コンビニ（経営者）	・高付加価値商品のみが売れる時代で、客の目が厳しくなっており、予想がしにくくなってきている。
コンビニ（エリア担当）	・価格に敏感な客層が増えている。スーパーなどと価格差のあるコンビニは厳しい状況が継続する(東京都)。
コンビニ（商品開発担当）	・前年のような長期の連休もないため、来客数の向上が話題もなく、引き続き来客数に苦戦すると予想される(東京都)。
衣料品専門店（経営者）	・路面店のため、猛暑の8～9月の日中は、高齢者の来店が落ちる。全店で午前中1時間の前倒し開店を考えているが、ここにきて、最低賃金の値上げを通告されると全員の時給を上げなければならない。粗利の改善も厳しく、どのような手があるのか、値上げが通用するのか考えている。
衣料品専門店（経営者）	・衣料品にとって、季節を占う一番大事な時期に入るが、この数年、ファッションに対する価値観の減退が多々見られ、起爆剤となるような、景気の良くなる要素が感じられない。
衣料品専門店（統括）	・現状の客のマインドに、急に変化が起きるとは思えない。
家電量販店（店員）	・量販店では現状のまま変わらないことが多い。飛躍的に伸びる要素もない(東京都)。
家電量販店（経営企画担当）	・季節要因を除いても、現在の消費傾向に大きな変化は見込めない(東京都)。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしているが、整備は順調に入っているものの、販売があまり芳しくなく、2割減となっている。
乗用車販売店（経営者）	・軽自動車の減少分を小型車売上でなんとか補っているが、かなり厳しい。
乗用車販売店（営業担当）	・長期の休みがあるので、集客にも影響が出る。
乗用車販売店（販売担当）	・やはり輸送業は全体的に停滞気味の感覚はぬぐいきれない。アベノミクスも順調ではないし、日銀がいろいろな対策を打っても、画期的な経済効果が出てこないだろう。当分の間は、今の踊り場的な状態のままで変わらない(東京都)。
乗用車販売店（渉外担当）	・登録車は前年比90%で推移している。新車受注は登録車より悪く、新型車の効果があっても総数では苦戦している。あまり良くない状態は今後もしばらく続く。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・周りを見ても景気が上向いているようには思えず、当店も変わっていない。
その他専門店〔貴金属〕（経営企画担当）	・客の動きはあるものの、現在のトレンドから、今後の販売量の伸びが良くなるとは考えにくい(東京都)。
高級レストラン（副支配人）	・法人の宴席予約状況から判断し、変わらない(東京都)。
高級レストラン（仕入担当）	・販売単価、来客数、売上高いずれも前年並みと考えており、しばらくは様子見状態である(東京都)。
一般レストラン（経営者）	・3か月後も今の状況とあまり変わらない。いろんな試みをしているが、なかなか良くならない。人口が増減したのか、周りの企業の景気が良いか悪いかにもよると思うが、あまり変わらない気がする。
一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題による世界経済への悪影響が考えられる。円高や、当店のような零細企業には人手不足による営業への影響や人件費高騰で厳しい状況が続く(東京都)。
一般レストラン（経営者）	・新しい安倍内閣で10兆円の補正額が組まれたり、いろいろと景気刺激策はあるが、現場にとっては人手不足で、売上をあげるのに厳しい状況になっている(東京都)。

一般レストラン（スタッフ）	・場所によって異なる。多くの人出があり良くなっている店舗もある一方、人の入っている店は当店ぐらいという場所もある。良い時と悪い時があるが、球団の効果や新作スマートフォン向けゲームをやっている人がうろろしている程度である。
都市型ホテル（スタッフ）	・アベノミクスの次の手が、どれほど効果が出るのか、はっきりするまでは、分からない。
旅行代理店（従業員）	・前年同期比で101～102%となっているため、変わらない（東京都）。
旅行代理店（従業員）	・円高による、企業業績が不安定である（東京都）。
旅行代理店（営業担当）	・円高基調が落ち着き、政府の景気対策も好材料がみられない（東京都）。
タクシー運転手	・治安が悪くなってきている。世界的にもそうだが、不安が加速している時代で、世の中が非常に暗い方向に動いているような気がする。不安のなかで生活しているのが、我々の客も横ばい、値下がりの傾向にあるのではないかと。
タクシー運転手	・国内景気は足踏みが長期化し、輸出も中国、アジア向けや米国向けなどで減少している。英国のEU離脱問題による円高株安など様々な報道を見ると、景気の先行き判断はしばらくは変わらない（東京都）。
タクシー運転手	・営業エリアには工業団地もあり、お盆前後は仕事が減り厳しい日が続くとみている。最近では、近場の居酒屋で飲む客が多く、長距離の客も減っているため、夜の売上が伸びない。まだまだ、この状況は続きそうである。
タクシー運転手	・良い材料がない（東京都）。
タクシー（団体役員）	・夏季休暇に向け、国内、海外、遠方、近場への人の動きに大きく左右され判断は難しい。首都圏から人が流出するため、例年8月は収益が減少傾向である。
通信会社（経営者）	・消費税増税や、軽減税率の導入議論があったものの、再延期となっている。これらは現在だけでなく将来の景気にも悪影響を与えている。やる時にはやり、将来不安を払しょくしなければ、景気はなかなか上向かない（東京都）。
通信会社（社員）	・放送番組、イベントなどの引き合いがあまりない（東京都）。
通信会社（営業担当）	・景気の先行き不透明感が払しょくされなければ、大きな回復は見込めない。
通信会社（営業担当）	・他社との競争が激化しており、付加価値ではなく、価格面での攻防から抜け出せていない。
通信会社（経営企画担当）	・上期の動きは鈍いが、下期に商談件数も増えるのではないかと（東京都）。
パチンコ店（経営者）	・今までの面白い機械がなくなっている。そういう機械を好んで遊んでいる客は、店内を移動したり、当店から離れるかもしれない。ただし、遊び、娯楽という意味では、低単価であまり売れない機械や、1円パチンコなどに客が移行しているため、長い目でみたら良いことかもしれない。ただ、2～3か月後は今とあまり変わらない（東京都）。
その他レジャー施設（経営企画担当）	・催事や、予約は堅調に獲得している。ただし、節約志向の強まりは既にレストランの売上などに現れており、この傾向はしばらく続くとみている（東京都）。
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・景気に対するプラス要因は、参議院選で保守系、現在の政権与党の票がそれほど減らなかったため、安定した経済政策にさらに踏み込む内閣の方針が具体的な施策として出て、3か月後に良い影響を与えることもあるが、都知事選の結果や、今後生じる英国のEU離脱問題、紛争地をめぐる経済状況がマイナス方向に働くこともあり、景気が上向くのか下向くのか、今後の進展次第といった状況なので、現在のあまり良くない状況が続くという意味で変わらない（東京都）。
その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・今後のメーカーの卸価格にもよるが、あまり変動がなく落ち着いた価格帯に収まり、販売量の増減はないとみている。
その他サービス〔電力〕（経営者）	・新築マンションの建設は予定通りで、電力小売の導入も予算通りに進みそうである（東京都）。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・今夏は好調だが、先行きに対する安心感までは感じられない。
設計事務所（経営者）	・行政への入札の件は、最低価格ラインが設定されているにもかかわらず、ある市町村においては入札金額にて低価格が裁許され落札されている。当社は低価格を外したいが、非常に難しい社会情勢となっている。そういった意味において、民間の仕事にチャレンジしたいが、設計事務所に向いてくれない方向が見受けられる。もっとホームページを活用しなければと考える。

	設計事務所（職員）	・補正予算の数字は大きいですが、ここ数年の状況から考えて、景気を左右するのかがどうか、よく分からない(東京都)。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場等の集客等は前年並みで、受注に大きな変化は感じられない(東京都)。
	住宅販売会社（従業員）	・マイナス金利も影響し、投資家への融資を抑えている金融機関が少ないため、アパートについては、3か月先まで順調に推移していく。
	住宅販売会社（従業員）	・売上の先行指標である受注においても、前年同期比、前期比共に変化はない。
	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・景気の動きとしてはあまり変わらないが、多少相談がされたものが決まることを期待するも、時間的がかかるのではないかと懸念している。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・先行きの良い情報が出てこない。物件など一過性の好材料が出てくる可能性はあるものの、底上げするほどにはならない(東京都)。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・最近では、客の買物に対する意欲がほとんどみられず、慎重になっている。同じ物であるならば、単価の低い方向で契約が進んでいくような状況で、売上を作るためには、今後もかなり努力をしないと不安が残る。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・売行きが良くないせいか、卸値もだんだん下がってきている。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・来客数、受注量が減っているため、やや悪くなる。
	一般小売店〔傘〕（店長）	・大幅に値下げをする販売はしていない。あちこちで夏のバーゲンが始まると客足が悪くなる。
	百貨店（総務担当）	・一部の商品には動きがあるものの、必要以上の物を購入しない傾向は続いている。買い回りがなく、全体として厳しい状況である。
	百貨店（広報担当）	・英国のEU離脱問題や、フランス、ドイツのテロ、また、米国では次期大統領選で国内意見が割れるなど、世界レベルで経済に強い影響を及ぼす事柄が進んでいる。この影響で日本も株価や為替が安定せず、国内的には雇用のミスマッチなど生活への不安は払しょくされず、例え一時的に賃金が上昇しても、生活の余裕は実感できないため、百貨店の消費が活性化する可能性は低い。衣料品などではWebなど他業態への顧客流出が続いており、いずれの方向から考えても百貨店への消費行動が上昇する要因は見当たらない(東京都)。
	百貨店（営業担当）	・残暑は厳しいとの予報が出ていることや秋、冬物にトレンドが見えず、また商品の同質化が顕著であり、新しいチャレンジができないなかで、売上を伸ばすことは非常に厳しい(東京都)。
	百貨店（店長）	・必要な物の買上が中心で、客単価の伸びは減少している。
	百貨店（営業企画担当）	・英国のEU離脱問題の影響がはっきりとしていない。また、中間層は相変わらず消費を抑えており、そのマイナスを補う訪日外国人客と富裕層の消費も、ここにきて陰りが見えてきている(東京都)。
	スーパー（店長）	・現状では、来客数の増加を見込んでいる。商品の動きは、価格の高い、安い、また、量目の多少と客層の幅が広がっていく傾向にある。
	スーパー（総務担当）	・梅雨が明けても、大きく購買意欲が上がる雰囲気はない。また、今話題となっている新作スマートフォン向けゲームが、直接売上に結び付くような集客や、購買意欲を持たせているようなこともない。頻度性の高い物、特に食品の動きが良くなく、また、流行がないということでは、おもちゃ関係も売行きは非常に厳しい。また、身の回り品、衣類品含めて、客単価は若干上がっているものの、来客数、買上点数は落ちており、今後もこの傾向は続く。
	スーパー（仕入担当）	・英国のEU離脱問題以降、株安、円高傾向で、デフレに向かうことが懸念され、節約志向が高まっている。
	コンビニ（経営者）	・販売量に加えて、来客数も減っている(東京都)。
コンビニ（経営者）	・1年を通して7月が当店の来客数、売上のピークである。これから8～10月と秋に向かって、来客数が少しずつ減り、売上も減っていく。来客数を減らさず商売をすることは、なかなか難しい。また、これだという有効策がない限り、来客数、売上を維持することは難しい。なんとか落ち込みを減らして、維持するように精一杯考えてやっていくしかない。	
コンビニ（経営者）	・夏が過ぎて涼しくなればまた来客数も減る。客の消費性向は非常に低い。	
コンビニ（経営者）	・長期予報では、今夏は猛暑と予想されていたが、平年並みと訂正された。前年の猛暑と比べると、売上は非常に厳しくなる。	

コンビニ（経営者）	・季節要因的にコンビニは7月が売上のピークのため、少しずつ下降していく。また、今月は例年に比べて梅雨が長引いており、売上も前年実績に届かない。
衣料品専門店（経営者）	・年金受給者の話では、介護保険料がかなり上がったということで、収入が目減りが目立っている。将来には不安しかない様子である。
衣料品専門店（経営者）	・参議院選が終わり、景気対策はそれほど叫ばれなかった。近隣で夏祭りが多くあり、人出は良かったものの、買物は減少していると聞いている。
衣料品専門店（店長）	・来客数の減少が止まらず、単価を上げなければならないが、単価は前年をぎりぎり下回っている。
衣料品専門店（営業担当）	・景気の良くなる材料が一つもない。消費税増税の再延期は良かったが、駅のターミナルが一部開業したところ、入口が耐震補強のために今までの広さの五分の一になってしまい、客が入ってくるのかこないのか分からず、不安だけである。
住関連専門店（営業担当）	・消費税増税の再延期の影響が大きく、駆け込み需要を見込んでいた分の売上のばん回は、厳しい状況にある（東京都）。
住関連専門店（統括）	・現時点で景気が良くなる要素は見当たらず、消費者も戸惑っているのではないか。そのため、購入意欲もそれほど伸びていない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・外国人客の購買行動の変化による売上減少と、国内客の将来不安による、購買モチベーションの低下がうかがえる（東京都）。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・スマートフォンゲーム市場では、新作スマートフォン向けゲームのリリースで社会現象が発生している。成年以上ではコンソール向けゲームに使える時間が大きく奪われるうえ、リオデジャネイロオリンピックもあるため、やや悪くなる（東京都）。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・先行きに対する不安感で、客が財布のひもを固くしていると感じる。
一般レストラン（経営者）	・今回の参議院選でもまた自民党を認めるような形になり、景気対策がされていないのに、しているかのように進んでしまっており、停滞したままの景気が上向くことはない。
一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題及び移民問題、テロ問題に起因する政治経済の混迷や中国経済の減速は、世界経済を間違いなく押し下げると考える。日本経済は、その影響で円高になるといわれており、今より更に景気が減速する危険性があるように感じる。
その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・為替、株式などの相場が、先々の景気悪化のシグナルを示している（東京都）。
都市型ホテル（スタッフ）	・円高傾向や先行きに対する不安から消費を控えるなど、前年とは一転し、全体的に前年を下回る予想となっている。法人、個人共に動きが鈍く、客単価の上まらない状況が続いており、景気が上向くとは期待できない。
都市型ホテル（総務担当）	・先行きへの不安から消費マインドが慎重になっている。
旅行代理店（経営者）	・天候不順のせいもあるかと思うが、今のところ2～3か月先の予約等は半減しており、あまり良くはならないような状況である。
旅行代理店（従業員）	・客からの問い合わせ、見積依頼が前年に比べて減っている。また、例年ならトップシーズンである秋の九州旅行需要も戻らず、九州ふっこう割の効果も限定的である（東京都）。
通信会社（経営者）	・他社携帯電話を軸とした乗り換え解約が今後も増え続け、純増が大きく減ると見込まれる。電力小売、MVNO、顧客訪問強化で防止策を講じているが、いまだ解決の糸口が見えない（東京都）。
通信会社（営業担当）	・8月はお盆休みもあり稼働日数が少なくなるため、契約件数はやや悪くなる。リオデジャネイロオリンピックを販促に契約件数を増やしたい（東京都）。
通信会社（局長）	・英国のEU離脱問題の影響が出る2～3か月後は、不動産不況の噂がある。事実、都内の外国人が多く入居している高級賃貸マンションの空室率が高くなってきていると聞いている。そうした悪影響で、一括契約しているマンションから値引きや解約が少なからず出るのはないか（東京都）。
通信会社（営業担当）	・良くなる材料は見当たらず、現在の傾向が続くのではないか。
通信会社（総務担当）	・夏のレジャーやお盆休みの消費の反動で、少し消費が冷え込むのではないか（東京都）。

		ゴルフ場（従業員）	・アベノミクスが景気の上向きに大きな影響を及ぼしたことは事実である。しかし、日本の進む道は、まだ分からない。世界中でシグナルが鳴っているようなので、景気は簡単に回復、安定はしない。
		ゴルフ場（支配人）	・今後、新作スマートフォン向けゲーム等による若者の動向や、梅雨明け後の高温の影響などにより、土日の来客数や年配客の減少も考えられる。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・子どもの数も段々減ってきているためか、各塾の無料体験期間が長くなってきている。それによって、早い時期から生徒の取込等があるのか、売上も生徒数も減少している。9月からあまり入会の見込がないため、悪くなる。
		設計事務所（所長）	・土地の値上がりと建築費の上昇があり、良くなる要素が見当たらない(東京都)。
		設計事務所（所長）	・もう少し仕事が増えないと、景気が良くならないのが現状である。都心ばかり仕事があっても、地方に波及していかない。やはり施主に自己資金がないので、補助金などで助成制度を高めていかないと耐震診断補強にもなかなかつながっていかない。
		住宅販売会社（従業員）	・ここ数か月の来客数はかなり落ち込み、それに伴い具体的な商談数も減り、成約数が落ちることは明らかである。カンフル剤的な要素も見当たらないため、販売量を確保する手段がないか、真剣に検討中である。
		住宅販売会社（従業員）	・情報数の減少及び客の反応が悪くなっている。
	悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・消費税増税の再延期になったころから、客の動きが鈍化しており、消費にかなり慎重になってきている。来客数、売上共に減少が続いている。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・店舗が増え続ける以上、回復の兆しはみられない。
		コンビニ（経営者）	・客の財布は非常に厳しい(東京都)。
		コンビニ（経営者）	・当地域では、コンビニの出店の増加や異業種が増えていく。百円ショップ、ドラッグストアなど今までにないような業態が台頭している。また、スーパーマーケットの営業時間が延長され、運営しているコンビニに影響しており、今後もその傾向は続く見通しである(東京都)。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・業界全体が悪化の一途をたどっている(東京都)。
		一般レストラン（経営者）	・宅配業務を止めるため、売上は悪くなる。また、店舗の一部改装をすることにより、使えないフロアが出るため、売上は減少する。1～2か月はこのような状況で、必ず売上は下がっていく(東京都)。
		住宅販売会社（経営者）	・まだ中小企業の景気が回復していないところへ英国のEU離脱問題という不安材料が発生したため、今後どのように影響を受けるか分からない。今のところ景気が良くなる材料はない。住宅が売れると経済波及効果は大きいので、住宅が売れるような対策を取ってもらえるとありがたい。
企業動向 動向 関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（経営者）	・国の小規模事業者持続化補助金を通り、新しい展開ができそうである。
		食料品製造業（営業統括）	・夏本番を迎えるため、飲料系を中心に需要増を期待している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎年9～10月ごろから受注量は増え始める(東京都)。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人関係が少しずつ上向きになっている。個人は横ばいというところだが、客単価が少し上がって伸びてきている(東京都)。
		電気機械器具製造業（経営者）	・先の引き合いが多少増えていることや、新商品の評判が良かったため、やや良くなる(東京都)。
		建設業（経営者）	・選挙が終わり、景気対策も始まるため、やや良くなる。
		建設業（従業員）	・取引先からの見積り依頼の量が増えてきている。
		建設業（営業担当）	・九州はもとより、関東でも最近頻繁に起きる地震に備えた耐震シェルターなどの工事案件が増えてきている。年内の工事完了案件もあるため、対応に追われている。
		通信業（広報担当）	・経済対策や追加の金融緩和もあるため、そのうち持ち直すともみている(東京都)。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・引き合い案件が減っていないため、これから良くなる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・これ以上悪くなるような気はしない。ただししばらくこの様子が続く(東京都)。

繊維工業（従業員）	・先行き不透明感があるため、消費者の購入意欲が湧いてこないのではないかと(東京都)。
出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新しい案件の話も非常に少ない。
化学工業（従業員）	・取引先、仕入先から今後が良くなる、悪くなるとの話が全くなく、先行きが見えない。
プラスチック製品製造業（経営者）	・今月は良いが、全体の状況を考えると3か月後に景気が良くなるという見通しはなかなか立てられない。基本的には大きく変わらない。
プラスチック製品製造業（経営者）	・既存製品の受注見通しは非常に厳しい状況が続くそうであるが、補助金等で開発した物の案件が採用されれば一気に活気付く。
金属製品製造業（経営者）	・中国の止まらない景気減速、無秩序な生産の影響を取引先が大きく受けている。改善が長引きそうだと協力会社にも影響がある。
金属製品製造業（経営者）	・取引先からの内示情報を見ていると、横ばいが続いている。
一般機械器具製造業（経営者）	・今は1か月に1,000個出ているものが急に2,000個出たり、他方でコンスタントに出ていたものがゼロになるという状況。それも違う客で起きていて、状況が把握できず、いろいろと怖い感じがしている。
その他製造業〔靴〕（経営者）	・なんとなく気配を感じる程度で、大きく悪くなる、良くなるような原因は見当たらないので、変わらないのではないかと。
その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・上半期は、実績が前年を若干上回ったものの、それ以上に伸長する要因が見当たらない(東京都)。
建設業（経営者）	・政権が安定すれば少しは良いと感じるものの、世界経済が安定していないため、変わらない。
建設業（経理担当）	・当社の対象である中小企業製造者の景気が悪いようで、設備投資の話がない。町中の商店もシャッターを降ろすところが以前より増加している。
輸送業（経営者）	・これといった目ぼしい対策が取られていないので、現状とあまり変わらないのではないかと。
輸送業（経営者）	・2～3か月後に変化がありそうな気配は現在のところない。しかし燃料価格が徐々に上昇をしてきて、先行きが大変気がかりである(東京都)。
輸送業（総務担当）	・出荷量は低迷状態から、少しずつ増えてきている。ただし、8月は工場や納入先の夏休みもあるため、稼働日が少なく、状況に変わりはない。
輸送業（総務担当）	・長期的に期待できる案件は少なく、3か月後の見通しも変わらず、厳しい状況が続く可能性は高い。
金融業（統括）	・政治の落ち着きがプラス材料ではあるが、その他の部分で特にプラス材料は見当たらないので、それほど変わらない。英国のEU離脱問題や政治資金のバラまき等があり、懸念材料は多くある。
金融業（従業員）	・製造業では業況が回復している取引先が多いが、小売業、サービス業の大半は顧客の減少や競争の激化に悩まされている。テロ等のネガティブなニュースが続いており、今後の経済に悪影響を及ぼすのではないかと心配する声も聞かれる(東京都)。
金融業（支店長）	・海外でのテロの多発や英国のEU離脱問題もあり、世界経済に不透明感があり、不安が募っている。当面の景気も良くなりそうになく、現状がしばらく続きそうである。
金融業（営業担当）	・2～3か月先の受注予想も現在と変わらず、設備投資の話も少ない。夏休み等もあり景気回復とまではいかない(東京都)。
金融業（役員）	・一部業種では仕事が増えてきているようだが、人材不足やコスト面等、何らかの理由により、受注できないでいる。ネックとなっているものは一様ではなく、課題を克服するには時間がかかる。
不動産業（経営者）	・同じような報告になるが、新築で今のような状態はまともではない(東京都)。
不動産業（総務担当）	・大きく変動する要素は見当たらない。ただし、新築ビルの空室も多く、テナントの獲得競争は激しくなると見ており、特に、やや古いビルは今の賃料水準を維持していくのは難しくなる(東京都)。
広告代理店（従業員）	・受注予定や売上予想額等は変わらず推移しており、増減はない(東京都)。

		<p>広告代理店（営業担当）</p> <p>税理士</p> <p>社会保険労務士</p> <p>経営コンサルタント</p> <p>税理士</p> <p>経営コンサルタント</p> <p>その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）</p> <p>その他サービス業〔警備〕（経営者）</p> <p>その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）</p> <p>その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）</p>	<p>・世界情勢などから訪日外国人の数が鈍化し、消費も少なくなるのではないかと。そのため、外国人客で売上を伸ばしていた企業や商品の業績が悪くなり、最終的に宣伝販促費が減るとみている（東京都）。</p> <p>・アメリカの景気はそこそこ良くなってきている。中国のバブルがいつ弾けるか、英国のEU離脱問題などが、すべてからんできて、円安、円高、どちらの方向に向かうのか、また、国内政治では、アベノミクスが参議院選で勝ったが、中小企業にどう影響するのかが分からないため、変わらない（東京都）。</p> <p>・良くなる要因が見当たらない（東京都）。</p> <p>・特に変化する要因がない。</p> <p>・8月に大きな期待はないが、猛暑が予想されており関連商材の売行きには期待したい。旅行需要が九州ふっこう割関連から盛り上がりそうで喜ばしいことである。</p> <p>・商工会議所の会合などで、大きな問題となっているのが、人手不足を背景とした人件費の上昇である。既に昇給などでベースアップをしているが、今後は、パートなどに適用される最低賃金の上昇や、夏季賞与支給がある。売上自体はそれほど変わっていないため、人件費比率の上昇が危惧される。</p> <p>・取引先の工場、特に、工業系製造業の稼働率が上昇する要素が全くみられない。</p> <p>・受注も大事だが、雇用条件の改善をしなければ景気は安定しない。</p> <p>・人手不足と最低賃金上昇の影響で、見積単価を上げているため、見積件数は増えても成約には至らない。今後、値上げした額でも成約できるようになれば、景気回復を実感できる（東京都）。</p> <p>・取引先で新規に整備事業を予算化することが困難となり先送りになっているため、ここしばらく変化はなさそうである。</p>
	やや悪くなる	<p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>輸送業（営業担当）</p> <p>広告代理店（経営者）</p> <p>経営コンサルタント</p> <p>その他サービス業〔映像制作〕（経営者）</p>	<p>・見積依頼は来るものの、相見積となり値下げをしなければ決まらず、利益を出すのが大変である。</p> <p>・主力取引先の1社が物流の改編、センター移転を行うことになり、当社の売上減は避けられない見通しである（東京都）。</p> <p>・現状、過負荷となっている仕事は3か月後には終了し、作業増の悪循環は解消しているだろうが、過負荷に費やした時間を回収できる案件の見込みは立っていない。</p> <p>・中国経済の影響やその他、海外取引の厳しさが、大手企業に響き、その余波が中小製造業に及ぶのは必至である。この先も厳しいと予想されるが、更に拍車をかけているのが、人口減少、一部建設関係の人材需要による人手不足である。ハローワーク経由で元派遣スタッフが求職してくるが、中小企業に回ってくる人材は、組織に向かないような採用のミスマッチの原因になるような人しか来ない（東京都）。</p> <p>・円高傾向がそのまま続き、国内で対策を講じても追いつかない。景気上昇の要素があるとは思えない（東京都）。</p>
	悪くなる	<p>出版・印刷・同関連産業（所長）</p> <p>精密機械器具製造業（経営者）</p> <p>その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）</p>	<p>・定期案件の穴埋めもできず、直近のスポット案件情報も枯渇しており、先行きが見通せない。</p> <p>・国際情勢は今年いっぱい混とんとするとみており、最悪である。</p> <p>・大きな案件が軒並みなくなっている（東京都）。</p>
雇用関連 (南関東)	良くなる	<p>人材派遣会社（営業担当）</p> <p>求人情報誌製作会社（営業担当）</p>	<p>・引き続き、求人数の落ち込む要因はなさそうである（東京都）。</p> <p>・周囲がにぎわっている（東京都）。</p>
	やや良くなる	<p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・有効求人倍率は、4月1.15倍、5月1.09倍、6月1.17倍となり、前年4～6月の平均と比較すると、0.18ポイント上昇しており、引き続き上昇傾向で推移している。また、6月の新規求人数を産業別にみると、卸、小売を除く、全産業で前年に比べて増加しており、産業計では20.2%の大幅な増加となっている。</p> <p>・今月の新規求人数は、前年同月と比べて減少したものの、フルタイム求人を中心に企業の採用意欲は強く、引き続き求人増加が見込まれる（東京都）。</p> <p>・有効求人倍率は1月をピークに下降気味であったが、再度上昇してきている。また、高卒の求人受領は前年度の3割増となっており、企業の新卒採用は活発である。</p>

	民間職業紹介機関（経営者）	・業種によって差はあるが、景気刺激策への期待は高い(東京都)。
	民間職業紹介機関（経営者）	・訪日外国人の活発な行動が、経営者の採用意識に明るさをもたらしている(東京都)。
	学校〔大学〕（就職担当）	・夏休みで外出が多くなり、4年に1度のオリンピックイヤー効果もあると予想する(東京都)。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・中国情勢が依然として不透明。アメリカの大統領選挙後どうなるのかということで、海外市場が非常に見えないという経営者が多い(東京都)。
	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題や海外市況の変化が、どのように国内景気に影響するか不透明である(東京都)。
	人材派遣会社（社員）	・年末に向けて採用は、厳しい状況が続きそうである。
	人材派遣会社（社員）	・景気回復につながる要因が見当たらない(東京都)。
	人材派遣会社（営業担当）	・派遣市場は、ほぼ横ばいではないか。秋に向かい退職者補充等の派遣需要が増えると思うが、求める求人スペックも高く、なかなか採用数の増加とはならない。
	人材派遣会社（支店長）	・求人、求職共に、ここ数か月横ばいのため、変わらない。
	人材派遣会社（営業担当）	・中小企業向けの補助金は一部事業者への影響はあるものの全体的な底上げには至らず、現状維持とみている(東京都)。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・時期的にアルバイト、パートの人材採用は増えるものの、企業が積極採用していくという話はあまり聞かない。現状の社員数で様子を見ていくようである。
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・今後の景気の見通しが良くなる材料がない(東京都)。
	民間職業紹介機関（経営者）	・企業の部門管理者からは、着実な地盤固めや現状打開のためには、新規事業の開発が必須と聞いている(東京都)。
民間職業紹介機関（職員）	・大手企業を中心に新卒採用が一服し、中途採用へのシフトがみられる。今のところは求人数、採用者数共に大きな変化はみられない(東京都)。	
やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・余剰人員を抱えずにぎりぎり業務を行うため、負担が増し疲弊による離職者が発生するという悪循環の企業が増えてきている。業績悪化が懸念される(東京都)。
	人材派遣会社（営業担当）	・参議院選、都知事選の特需分の短期的採用は減るものの、依然として好況であることには変わりがない(東京都)。
	人材派遣会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題で、取引先各社とも様子見をしているようで、新たな予算執行を見送っている(東京都)。
	職業安定所（職員）	・熊本地震の経済への影響や、英国のEU離脱問題等による為替相場の不安定さなどのため、やや悪くなる。
悪くなる	-	-